

おまえざき

# 市議会だより

第58号

2019. 4.5.6月

令和元年 8月発行

- ② 6月議会定例会
- ④ 委員会質疑
- ⑤ 一般質問
- ⑨ 委員会報告



## 白羽の由来

白羽神社の最初の祭神の名前（長白羽命<sup>ながしろわのみこと</sup>）から付けられたという説と、万葉集に詠われている志留波<sup>しるは</sup>が転化したとの説がある。万葉集（日本最古の歌集）に収録された防人の歌に「遠江 志留波の磯と爾閉の浦と合ひてしあは言も通はむ」とある。御前岩を頂点に西は尾高から、北は地頭方に至る荒磯の岩に砕ける白い波の景観から付けられたと解され、713年（和銅6年）に二字の嘉名<sup>かめい</sup>を充てよという詔<sup>みことり</sup>から現在の「白羽」の名となったと伝えられている。 ※嘉名=良い名前

# 6月議会定例会

6 月定例会を 6 月 3 日から 6 月 27 日までの 25 日間の会期で開会しました。

## ■ 6 月議会定例会で審議した議案等

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第 1 号	御前崎市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険法施行令の一部を改正する政令の施行（4 月 1 日）により、本年 10 月 1 日に予定されている消費税率 10% への引き上げに合わせ、本条例第 4 条第 1 項第 1 号から第 3 号に該当する所得の少ない第 1 号被保険者の保険料の軽減強化を行うもの	全員一致で可決
議案第 2 号	御前崎市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	本年 10 月 1 日に予定されている消費税率 10% への引き上げに伴い、水道料金及び加入金の改正を行うもの	賛成多数で可決
議案第 3 号	御前崎市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	本年 10 月 1 日に予定されている消費税率 10% への引き上げに伴い、下水道使用料の改正を行うもの	賛成多数で可決
議案第 4 号	御前崎市農業集落排水処理施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	本年 10 月 1 日に予定されている消費税率 10% への引き上げに伴い、農業集落排水処理施設使用料の改正を行うもの	賛成多数で可決
議案第 5 号	御前崎市病院事業の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	本年 10 月 1 日に予定されている消費税率 10% への引き上げに伴い、個室使用料、人間ドック料等の使用料及び診断書・証明書等の手数料の改正を行うもの	全員一致で可決
議案第 6 号	御前崎市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準が改正され、特定小規模施設用自動火災報知機を設置することで、住宅用防災警報機の設置免除が可能となる規定が追加されたため、本条例中に設置を免除する規定を追加するもの	全員一致で可決
議案第 7 号	令和元年度御前崎市一般会計予算の補正（第 1 号）について	低所得者及び子育て世帯向けプレミアム付商品券発行経費、子ども子育て支援システム改修経費及びトマト集出荷貯蔵施設整備補助金として合わせて 4,664 万円を増額し、総額を 169 億 5,664 万円とする補正	全員一致で可決
議案第 8 号	御前崎市における産業廃棄物処理施設の設置についての住民投票に関する条例の制定について	市内における産業廃棄物処理施設の設置について、市民の賛否の意思を明らかにすることを目的として、市民による投票を行う住民投票条例の制定を行うもの	委員会にて継続審査

議案番号	件名	概要	審議結果
同意 第1号	御前崎市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	固定資産評価審査委員会委員に、 <small>あつみ しゅういつ</small> 渥美周逸氏、 <small>まつ いたかゆき</small> 松井孝行氏、 <small>やまぎき なおき</small> 山崎直紀氏を選任	全員一致で 同意
同意 第2号	御前崎市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	教育委員会委員に、 <small>たけだ かずよ</small> 竹田和世氏（佐倉地区）を任命	全員一致で 同意
同意 第3号	御前崎市佐倉財産区管理委員の選任につき議会の同意を求めることについて	管理委員に、 <small>うえた かつとし</small> 植田勝利氏、 <small>うえた まさひろ</small> 植田昌弘氏、 <small>ますだ ひろ</small> 増田博志氏、 <small>くればやし きいつ</small> 榎林喜逸氏、 <small>ますだ みつお</small> 増田満夫氏、 <small>むら たまさる</small> 村田勝氏、 <small>みずの さだお</small> 水野貞男氏を選任	全員一致で 同意
同意 第4号	御前崎市朝比奈財産区管理委員の選任につき議会の同意を求めることについて	管理委員に、 <small>かわらさき ひでやす</small> 河原崎秀康氏、 <small>かわらさき けんじ</small> 河原崎健司氏、 <small>と</small> 鳥羽西一氏、 <small>かわらさき かつよし</small> 河原崎雄旨氏、 <small>やまもと やすお</small> 山本安男氏、 <small>かわらさき しげはる</small> 河原崎重治氏、 <small>ますだ たかし</small> 増田隆司氏を選任	全員一致で 同意
同意 第5号	御前崎市新野財産区管理委員の選任につき議会の同意を求めることについて	管理委員に、 <small>ごとうまさる</small> 五島勝氏、 <small>おきまさあき</small> 沖正昭氏、 <small>くらの とよつな</small> 倉野豊綱氏、 <small>さいとういちろう</small> 齋藤一郎氏、 <small>おおいしげ じ</small> 大石茂司氏、 <small>さいとうよしな</small> 齊藤芳直氏、 <small>ますだ まさ</small> 増田雅巳氏を選任	全員一致で 同意
承認 第1号	専決処分の報告及びその承認について（御前崎市税条例等の一部を改正する条例の制定について）	地方税法等の改正が3月29日に交付され、4月1日から住宅借入金等特別税額控除の拡充及び熊本地震の被災住宅用地に係る課税標準の特例措置が延長され、また、施行日を異なって、ふるさと納税制度、軽自動車税環境性能割の税率の適用区分の見直しなどの改正が行われるため、地方自治法第179条第1項の規定により3月29日に専決処分を行ったもの	全員一致で 承認
承認 第2号	専決処分の報告及びその承認について（御前崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	地方税法の改正が3月29日に交付され、4月1日から施行されることに伴い、低所得者に対する均等割と平等割の軽減措置の対象を拡大し、5割軽減と2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引き上げが行われるため、地方自治法第179条第1項の規定により3月29日に専決処分を行ったもの	賛成多数で 承認
報告 第5号	権利の放棄について	医療費について、滞納したまま行方不明になったもの、死亡により請求先が不明のものの請求の権利を放棄したため、債権管理条例第13条第2項の規定により報告するもの	



◆賛否が分かれた議案

議案番号	案件・結果 (賛成=○ 反対=×)	議員名(議席順)														
		河原 崎恵 士	渥 美昌 裕	櫻 井勝	植 田浩 之	齋 藤洋	松 下久 己	水 野克 尚	大 澤博 克	若 杉泰 彦	大 澤満	増 田雅 伸	清 水澄 夫	杉 浦謙 二	阿 南澄 男	
議案 第2号	御前崎市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第3号	御前崎市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第4号	御前崎市農業集落排水処理施設設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認 第2号	専決処分の報告及びその承認について (御前崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加われません。

人間ドックのご案内

◆人間ドック料金

コース	料金	消費税	合計金額
1日コース	¥35,000	¥2,800	¥37,800
1泊コース	¥60,278	¥4,822	¥65,100

※脳ドックやオプションにつきましては下記までお問い合わせください。

◆申し込み方法

完全予約制のため、健診センター受付に直接来院、または電話にて申し込みください。

予約受付時間：13:00～16:00(土日・祭日は除く)

【問い合わせ先】 市立御前崎総合病院 健診センター  
電話：0537-86-8867

人間ドック・脳ドック助成制度

◆対象となる方

ドック受診日現在において、国民健康保険に1年以上加入し国保税を完納している方

後期高齢者医療被保険者で保険料を完納している方

◆助成額

受診者1人につき人間ドックは20,000円、脳ドックは10,000円が助成されます。

【問い合わせ先】 御前崎市役所 市民課(国保年金係)  
電話：0537-85-1171

**答**

ら実施しておらず、当初ど

**問**

の半日コースの内容は

【議案第5号について】

令和元年6月17日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

文教厚生委員会

委員  
質疑

**答**

けるようPRに努めます。

きでは

**問**

多くの市民が受診しやすいように積極的なPRをすべ

す。

**答**

健診センターと相談し、わ

**問**

パンフレットの追加項目の

ういう内容であったのかわかりません。実態はなかったと思われるので、今回削除させていただきます。

# 一般質問

## 7名が登壇 市政を問う

\*この一般質問は6月13日に行われたものです。

### 一般質問

#### ・農村地域工業等導入促進法について



阿南澄男

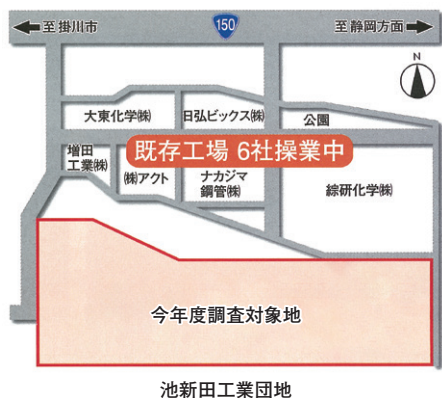
### 問

池新田工業団地では現在6つの企業が操業し、12haが未使用地となっている。6つの企業の立地後、バブル崩壊や東日本大震災などで企業誘致が思うように進んでいないのが現状だ。今回、農村地域工業等導入促進法が改正され、5つに限定されていた業種制限が廃止となった。これに伴い市として現在どのような取り組みを計画しているのか。あるいは、取り組んでいるものがあるか。また、5業種限定が廃止されたことにより、今後どのような業種の企業誘致を考えているのか

### 答

平成29年に支援対象業種を工業などに限定せず、サービス業などにも拡大することを柱とした「農村地域への産業の導入の促進等に関する法律」に改正されました。この法律改正に合わせ、現在の農村地域工業導入計画から農村地域産業導入実施計画への変更を考えています。本年度は、現在の計画における基礎データの更新を行うとともに、今後の工業用

地としての活用、開発に向けた課題、問題点を整理し、それらを踏まえた上で、企業誘致の可能性と産業導入計画の方向性を取りまとめる調査をしていきます。対象業種については、国が推奨する農村地域での立地ニーズが高いと見込まれる産業を中心に、本年度行う調査を踏まえて企業誘致の可能性と方向性を検討してまわりたいと考えています。



一般質問

・浜岡原発の核セキュリティ対策について  
・地方自治体運営の基本原則について



齋藤 洋

**問**

浜岡原発にも県警が配備されているが、一般市民である守衛さん達のいる守衛所の奥に隠れるように配備されている。これは、「県警は、一般市民を盾に使っている」と言われても仕方ない状態であるので、県・国に対し、是正を要請すべきでは

**答**

原子力発電所の核セキュリティ対策は、不審者の検知・通報・遅延・対抗の4つから構成されています。対抗を行う治安当局が発電所に配備されていることは承知しているが、具体的な体制は、警備上の機密事項として明らかにされていません。

今後、全国原子力発電所所在市町村協議会の要請活動を通じ、核セキュリティ対策の一層の強化に繋がるよう取り組んでいきたいと考えます。

**問**

地方自治体運営の基本原則は。また、ローカルルールと法律に齟齬が発生している場合の対処方法は

**答**

地方自治体運営の基本原則は、法に基づく運営です。ローカルルールと法律に齟齬が確認された場合には、速やかに法律に沿ったものに改善あるいは是正していく必要があると思います。

**問**

池新田財産区が進める産業廃棄物処理工場兼発電所建設は、開発行為であり、地方自治法に基づき県が財産区の権能として認める「管理・処分・廃止」に抵触しないか

**答**

県に確認します。

**問**

公の法人である財産区が、各種団体へ補助金などを支出することは、地方自治法に抵触しないか

**答**

直接交付は、好ましくないと考えます。

一般質問

・子育て支援について



櫻井 勝

**問**

今年10月からの幼児教育無償化に伴い、より保育を希望する保護者が増加すると予想される。核家族化、共働き世帯が増えている中、残業や園児が病気で保育園を休む際、面倒を見たりするなどさまざまな場面で手助けをしてくれる祖父母の存在が大切だと感じる。しかし、祖父母世代と子育て世代間で育児のギャップがある。そのギャップを解消するため、育児に関する最新の知恵や事故の防ぎ方などの講習、冊子の配布などをしてはどうか市の考えを伺う

**答**

昨年度、子育て世代に実施したアンケートによると「祖父母が日常的に子育てに関わっている」との回答は3割を超えていました。また、祖父母や親族に「緊急時や用事の際、面倒を見てもらえる」と5割の方が回答するなど、既に子育て世代と祖父母世代では、ある程度の信頼関係が築かれていると考えられます。その中で、祖父母などの身体的・

精神的な負担を心配する回答もあり、心苦しい面も伺える結果でした。

このような状況を踏まえ、市は、子育て世代・祖父母世代の動向に注視し、手帳の発行の必要性について検討します。現在は、ライフスタイルや経済社会が目まぐるしい変化の中、家族は就業・家事・育児に日々追われ、子育てのつまりのリスクも高まりがちです。

子育て世代への支援の質的・量的な向上と利用者目線に立ち、一貫性・整合性のある支援が提供できるよう、専門知識を生かしマネジメントする機関として設置した「子育て世代包括支援センター」の機能を強化していきます。





一般質問

ふるさと納税について



水野克尚

**問**

ふるさと納税は応援したい自治体に寄付できる制度です。また、寄付すると同時に返礼品を受け取ることができることも魅力の一つである。御前崎市におけるふるさと納税の寄付額及び返礼品の人気商品は

**答**

寄付額は、平成28年度約4、100万円、29年度約4、300万円、30年度約5千万円で

す。人気返礼品は、「一本釣かつお」とまぐろ3点セット」、「多肉植物セット」などです。また、30年度は「ウイスキーセット」、「ビールセット」が人気でしたが、返礼品見直しのため現在は取り扱っていません。

**問**

返礼品のかつおが柵で届くと思っただが一本そのまま生で送られて捌くのに困ったというブログを見た。地元の人魚を捌くことが普通で誰でも家で捌けると思っただが地方と都市の文化のギャップが面白いと載っていた。

今後返礼品をどのようなものにするのか考えを伺う

**答**

御前崎市民はかつおが一本届くと嬉しい人もいますが、今後は捌けない人のために3枚におろして真空パックで送るなどいろいろな方法を考えしていきます。



生かつお

**問**

ふるさと納税の寄付金を貴重な税収として捉えている自治体もある。ある町ではこの寄付金を利用し、公共事業はもとより、幼小中へのエアコン設置、高校生までの医療費無料化、給食費無料化も行っている。市の寄付金の使い道の考え方は

**答**

今は一般会計の中で使わせていただいています。市の重点施策を推進していくための財源として活用していくことを検討します。

一般質問

御前崎ブランド認定について



松下久己

**問**

農林水産課から示された5品目のブランド認定について、更なる市の発展に寄与し、市の将来を左右する大きなプロジェクトであると確信しています。今回先行事例として、「つゆひかり」「生かつお」「アロームメロン」「遠州夢咲牛」「クエ」の5品目を認定した経緯、今後の認定予定、認定期間、今後の展望、具体的な戦略を伺う

**答**

5品目を認定した経緯は、既に市の特産品として認知されていることから更に付加価値を付けるために、今回選定し認定しました。次に、今後の認定予定は、意欲のある企業や団体、個人から申請していただくために、ブランド開発実行委員会の組織強化や認定ブランドのPR、申請手続きなど、ブランド認定される仕組みを整備します。今後の展望と具体的な戦略は、更にブランド認定品を増やし、農水産物などの一次産品だけでなく、それを加工した二次産品による特産品が生産者や

事業者及び行政など関係機関が連携し、新たな商品が創出されることを目指していきます。御前崎ブランドを広く認知してもらうために、ホームページ、SNS、ポスター、のぼり旗などを活用しながら、首都圏などの店舗や駅、高速道路のサービスエリアでPR活動し、シティプロモーション事業の一環として、市の魅力を伝え、知名度アップと販路拡大につながるよう展開していきます。



御前崎ブランド認定式

一般質問

・大栄環境について  
・原発問題について



清水澄夫

ていないため回答は控えます。

**問** 浜岡砂丘を守る会が公民館で一営利団体の説明会を聞くことは公民館法に抵触しないか

**答** 任意団体の自主的な取り組みのため、社会教育法の公民館運営、その他の法令に抵触するものではありません。

**問** 子供支援委員会が、大栄環境への視察募集をした。この募集は一営利団体への利益誘導ではないか

**答** 2月議会の答弁のとおり問題ないと考えています。

**問** 住民投票条例を求める署名者は、1万1,829筆で有権者数の44%だった。環境、子供、交通、農業、漁業など産廃施設に対する意見は厳しい。市長はこの署名数を重く受け止めると発言したが、条例が成立し住民投票に進めば、その結果を尊重し住民の立場に立って判断を下すのか

**答** 現時点では、住民投票条例にかかる本請求が提出され

**問** 地震が頻発し、東海地震に加え南海トラフも連動する危険もある。国、県の出方を注視するのではなく、市独自の対策が必要だ。避難経路、子供、高齢者、病院の患者、保育園の児童など課題は計り知れない。輸送手段などの計画はどこまで進んでいるのか

**答** 原子力災害の市独自の計画として、「原子力災害広域避難計画」を公表し関係機関と協議を進めています。保育園、幼稚園、小中学校の児童生徒は、原則、保護者へ引き渡します。要配慮者は、原則、自家用車での避難となります。長距離移動により健康リスクが高まる要配慮者のために、一時的に安全に屋内退避することのできる放射線防護施設の整備を進めています。輸送手段の確保として、市内のバス会社、運送業者と協定を結び協議を進めています。

一般質問

・環境保全及び創造施策について



大澤博克

**問** 「御前崎市環境基本条例」に掲げる基本理念は、保全と創造であり、その意味は市民が快適な生活を営む上で必要な開発は行うが、環境への負担はできる限り抑え、手を加えながら環境を守るという「保全の理念」と理解するが市長の考えは

**答** この条例は、環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築に向けて、市民が自ら積極的に取り組むことによって、良好で快適な環境を将来の世代に継承していくことを基本理念としており、この基本理念が変わることはありません。市としては、社会情勢の変化を的確に捉え、将来を見据えた中で、より現実的な施策の推進に引き続き取り組んでいきます。

**問** ダイオキシンの発生を抑えるために市民ができることは何か

**答** ダイオキシンは、物が燃えることによって発生する有機塩素系の化合物です。ゴミをな

るべく出さないことがダイオキシン発生を抑える一番の近道です。また、「ゴミの野焼き」は、ダイオキシンの発生原因となるので、法律で原則禁止されています。

**問** 一般廃棄物と産業廃棄物の違いは何か

**答** 市民生活の中で出るゴミは、一般廃棄物として、市の責任で処分することが法律で決められています。一方、営利を目的とした事業活動の中から出るゴミは、一部を除き産業廃棄物として、排出者の費用負担で処分されます。

**問** 中国が廃プラスチックの輸入を中止した影響で、笠名系のある環境保全センターでも事業系の廃プラスチックを受け入れなければならなくなるのか

**答** 廃プラスチックの受け入れを検討するよう国から要請がきています。しかし、焼却炉の機能的な問題もあるため、現時点では検討することも含め未定です。



# 委 員 会 報 告

## 予算決算審査 特別委員会

令和元年6月18日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

〈令和元年度一般会計補正（第1号）〉

問 プレミアム付商品券が10月から実施されるがPR方法は

答 対象世帯へ個別に通知します。また、広報おまえぎきやHPにも詳細を掲載します。

問 商品券を取り扱う店舗は

答 商工会へ委託し、幅広く市内の店舗へ参加を呼びかけます。

### 〈対象〉

- ◎平成31年度住民税非課税者（課税されている人の被扶養者や生活保護受給者は除く）
- ◎平成28年4月2日から令和元年9月30日までの間に生まれた子どもがいる世帯の世帯主

## 原子力対策 特別委員会

令和元年6月19日に委員会を開催し、浜岡原子力発電所の状況について、中部電力(株)より報告を受けました。

1 浜岡4号機の適合性確認審査の状況について

福島第一原子力発電所事故の教訓を活かし、新しく規制基準が設けられました。主なものは、原子炉を冷却できなくなるような過酷な重大事故の発生・進展を防ぐ対策の新設、地震・津波などの自然災害に対する対策の強化です。

中部電力(株)では、4号機の対策が新規規制基準に適合しているか原子力規制委員会の審査を受けていると報告を受けました。

2 特定重大事故等対処施設について

「特定重大事故等対処施設」とは、意図的な大型航空機の衝突やその他のテロにより、原子炉格納容器の破損による放射性物質の大量放出を制御する施設です。原子炉建屋から100m以上離れた場

所に遠隔で操作できるように制御室、原子炉を冷やすために必要な電源や注水設備などの設備を言います。現在、その設備について検討しているとの報告を受けました。

### ＜新規規制基準＞

<p>意図的な航空機衝突への対応</p> <p><b>重大事故の発生・進展を防ぐ対策を新設</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放射性物質の拡散を抑制する対策</li> <li>・格納容器の破損を防止する対策</li> <li>・炉心損傷を防止する対策</li> </ul>	<p><b>重大事故対策</b></p>	<p>浜岡原子力発電所における対策の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガスタービン発電機</li> <li>・淡水貯蔵</li> <li>・交流電源車 など</li> </ul>
<p>自然災害等から重要な設備を守る（共通の要因により同時に機能が損なわれない）対策を大幅に強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震・津波に関してそれぞれの調査結果に基づいて改めて評価し直し、不確かさを考慮したうえで基準地震動と基準津波を策定</li> <li>・竜巻や火山などの自然現象や火災、浸水などの影響を評価</li> <li>・上記の評価を踏まえた必要な対策</li> </ul>	<p><b>重大事故に至らせない対策</b></p>	<p>浜岡原子力発電所における対策の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防波壁</li> <li>・強化扉</li> <li>・竜巻対策 など</li> </ul>

新規規制基準と浜岡原子力発電所の対策例

## 総合開発計画策定 特別委員会

令和元年6月19日に委員会を開催し、内容は次のとおりです。報告後に浜岡中学校仮校舎、災害支援物資拠点施設を視察しました。



災害支援物資拠点施設（旧消防署跡地）

1 浜岡中学校校舎改築事業の報告について

解体工事の安全祈願祭を6月3日に行い、12月から本体工事に入り令和3年2月に校舎が完成し、全てが終了するのは夏休み前の予定です。なお、アスベスト調査を実施した結果、処理工事は11月末

までに終了する予定です。

## 2 新給食センター建設事業の報告について

施設はオール電化で太陽光発電及び蓄電池を設置して省エネ対応をします。従業員は35名から40名、食材の動線を一方通行とし逆戻りできない構造とします。社会見学のための吹き抜けを廃止し、カメラのライブ映像での見学に変え、エアコンのランニングコストの軽減を図ります。今後、外観図面が出来次第報告をします。

## 3 浜岡保育園民営化事業の報告について

新保育園は(福)やまも福祉会が事業主体で建設します。定員は130人で、延床面積は約1、676㎡、鉄骨造平屋建となります。6月27日に入札、7月より工事に入り来年3月の完成予定となります。委員からは、この頃児童が事故に巻き込まれることが多く対応が急務であることから、安全な歩道を確保すべきという意見が出されました。

## 4 道の駅風のマルシェ御前崎の状況について

昨年は、北海道物産展を開催したことから、直売所の売上げが伸びました。一方、「キッチン御前崎」は、事業精査により本年3月末に閉店しました。この建物は、指定管理者であった(株)ウエイザがレストラン施設として建設し、その後、中日本エクシス(株)の所有となりました。現在、出店者の募集をしていますが、調整がつかない場合は、市が建物を借用する、市が有償・無償で譲渡を受ける、建物を撤去し更地での返還を受けるの3案を検討し、出店者の確保を商工会や観光協会などと相談しながら進めるとの報告を受けました。

委員会として、「キッチン御前崎」撤退後の対応については、早急に取り組むよう求めました。

## 5 火葬場事業の経過について

前回の委員会です市が候補地を選定できる状況でないと報告を受け、4月の町内回覧では全てを再検討すると広報されました。経緯について市長からは、「佐倉地区候補地の説明会で大変厳しい意見が出されたことでもう一度検討し市民の合意を得られるようにしたい。この候補地については白紙に戻して検討する」と報告を受け、

火葬場の整備については、今後の方針を議会に早急に示すよう求めました。

## 6 市営墓地整備事業について

市営墓地整備は、既存の栗ノ原霊園の拡張、再整備を検討します。計画方針は、区画数450基、合同墓最大2千体収骨できる施設とします。付帯施設は、四阿やユニバーサルデザインを取り入れたトイレなどの整備をします。委員から菩提寺でも墓地造成をしているが調整できるのか、宗派を超えた永代供養塔を考えるべきなど意見が出され、市営墓地整備事業については、地元対応に十分配慮するよう求めました。

### 御前崎市の計画方針

- ① 将来に向け安定的に墓地供給できる
- ② 自然特性を生かした配置
- ③ 利便性の高い墓地の整備
- ④ 多様化する需要に対応した墓地の整備

### 産業廃棄物処理対策等調査 特別委員会

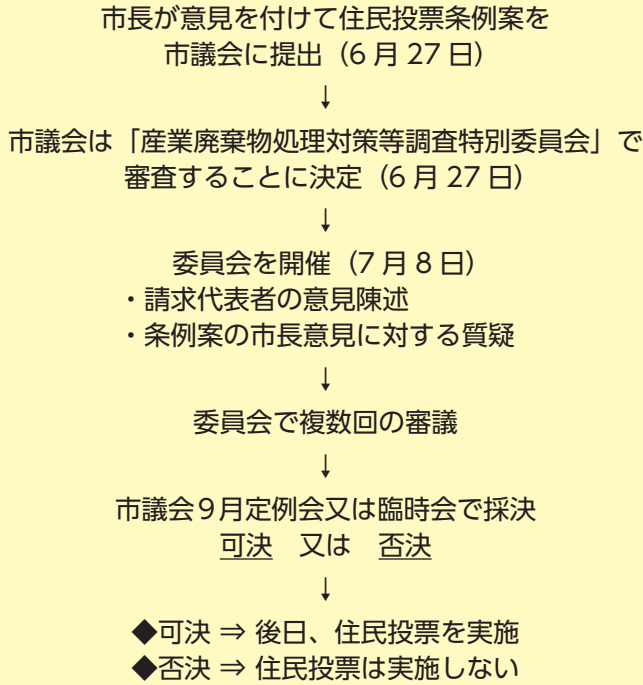
令和元年6月27日に委員会を開催し、内容は次のとおりです。

【議案第8号】御前崎市における産業廃棄物処理施設の設置についての住民投票に関する条例の制定について

市長は、民間事業者が市内に建設を予定している産業廃棄物処理施設の建設賛否を問う住民投票条例案を6月27日市議会定例会に追加議案として市長意見(賛成意見)を付けて提出しました。市議会では、産業廃棄物処理対策等調査特別委員会にこの議案を付託し、継続審査とすることにしました。委員会では、今後の審査の進め方について協議しました。

★継続審査のため7月8日開催の委員会内容を掲載します。  
令和元年7月8日に議会閉会中の委員会継続審査を開催し、内容は次のとおりです。  
代表者の意見陳述  
請求代表者2名(中山啓司氏、池田恵実子氏)が意見陳述を行いました。

～住民投票までの流れ～



市長意見に対する質疑  
住民投票に関する条例の制定に  
ついて市長への質疑が行われまし  
た。

- ・ 投票率が低い場合でも必ず開票  
をしてほしい
- ・ 投票は賛否の二者択一にしてほ  
しい
- ・ 迅速な審議と早期採決をしてほ  
しい
- などが述べられました。

委員会の様子は、CATVデジ  
タル122チャンネルで生放送  
と録画放送をしています。

- ・ 大栄環境(株)と池新田財産区管理  
者として契約を結んだ経緯は
- ・ 契約書の内容を明らかに
- ・ 環境影響評価中で結果が出てい  
ない判断材料がない状態で住民  
投票条例を上程した理由は  
など多くの質疑が出ました。



若杉泰彦議員 増田雅伸議員 杉浦謙二議長 清水澄夫議員 大澤満議員

市議会議員 15年以上表彰 (一般) 受賞者 5名



東海市議会議長会表彰  
全国市議会議長会表彰

4月11日に東海市議会議長会定期総会が三重県津市で開催され、  
6月11日に全国市議会議長会定期総会が東京都で開催されました。  
5名の議員が、市議会議員15年以上の一般表彰を受賞しました。



# 9月定例会の予定

9月定例会は、8月26日(月)から9月26日(木)までの32日間の会期で開催される予定です。

日程は、変更になる場合がありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

- 8月 26日(月) 本会議(議案説明)
- 9月 5日(木) 本会議(質疑・一般質問)
- 6日(金) 本会議(一般質問)
- 9日(月) 総務経済委員会  
文教厚生委員会
- 10日(火) 予算決算審査特別委員会
- 11日(水) 予算決算審査特別委員会
- 12日(木) 予算決算審査特別委員会
- 13日(金) 特別委員会
- 26日(木) 本会議(質疑・討論・採決)

## 議会を傍聴しませんか?

- 市議会はどこでも傍聴することができます。傍聴定員は34名です。超過した場合は別室でのテレビ傍聴となります。
- 耳の聞こえにくい方のためにイヤホン型の補聴支援用機器があります。
- 事前予約は必要ありません。当日、市役所4階議会事務局へお越しください。

## ◎傍聴に来られない方も市議会の様子をご覧ください!!

本会議・予算決算審査特別委員会・産業廃棄物処理対策等調査特別委員会の内容は、おまえざきケーブルテレビの市民チャンネルのデジタル122チャンネルで放映されます。放送日については、その都度、音声告知放送にてお知らせします。

## 市民の皆様の声をお寄せください

議会だより作成や編集に役立てるため、議会だよりの感想をお聞かせください。電話・FAX・郵送・Eメールで受付します。

- ◇住所・氏名・電話番号を明記してください。
- ◇お便りの返却はいたしません。

問い合わせ先

### 御前崎市議会 議会広報特別委員会(議会事務局)

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585  
 TEL (NTT・CATV) : 0537-85-1115 / FAX : 0537-85-1139  
 E-mail : gikai@city.omaezaki.shizuoka.jp



御前崎市マスコットキャラクター  
ふうちゃん



御前崎市マスコットキャラクター  
なみまる

### 6月

- 27日 6月議会定例会本会議(最終日)
- 25日 議会運営委員会
- 19日 総務経済委員会  
原子力対策特別委員会
- 18日 予算決算審査特別委員会
- 17日 文教厚生委員会
- 13日 6月議会定例会本会議(一般質問)
- 10日 全国市議会議長会第215回理事会
- 6日 議会運営委員会
- 4日 浜岡原子力発電所安全等対策協議会役員会
- 3日 6月議会定例会本会議(初日)

### 5月

- 31日 静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会
- 27日 全国原子力発電所所在市町村協議会総会
- 24日 議会運営委員会
- 21日 防衛省全国情報施設協議会役員会
- 20日 議会全員協議会
- 13日 議会運営委員会

### 4月

- 19日 議会全員協議会
- 17日 議会広報特別委員会
- 11日 第102回東海市議会議長会定期総会
- 10日 議会広報特別委員会
- 9日 議会運営委員会

議会のいきり

編集  
議会広報特別委員会

委員長 松下久己

副委員長 櫻井勝

委員 大澤博克 河原崎恵士 植田浩之